

急ぎ過ぎだよ 人類は。  
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより  
逢いてエ

# 雑報 綴文

いろいろ考えがあるから面白い  
いろいろな人がいるから楽しい

No. 618

2022年 4月

晩  
柑

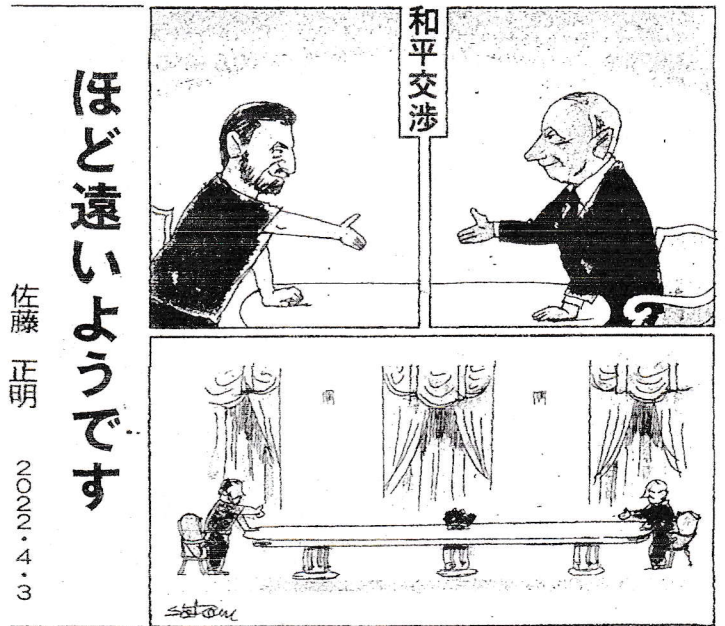
編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- あの山の向こうに 2
- お便りから 4
- 山仕事(お月の①、大平) 12
- 『緑十字楼 決死の飛行』 17
- 軍事力で国や民を弁ねるか 24
- ロシアはかつての日本の姿 25
- け・い・じ・ばん 26



ほど遠いようです

佐藤 正明 2022.4.3

(4月3日、東京新聞)

ご迷惑、ごしほにを  
おかけします。  
でも  
居たたまれなくて。

この見本誌をみて新たに

「読んでみようか」という方は、

年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 申し込み下さい。

月 日 現在の  
会員数 名

題 字 故 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※ この号の切手は、  
おもてなしの花 ⑮

# 山仕事(3月①, 大平)

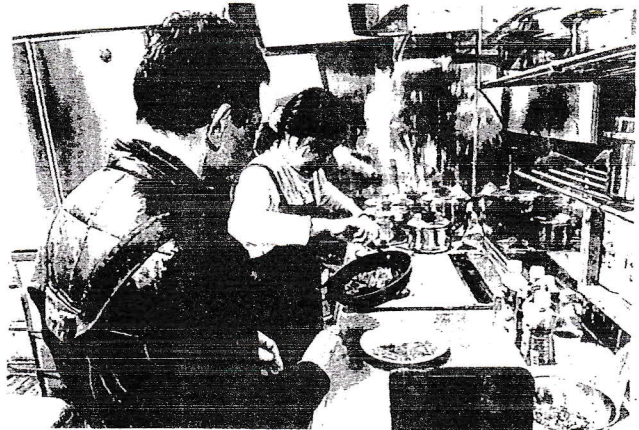
3月はやる事が多く、2回実施することになった。

3月6日(水)、晴。伊藤康江さんはこの日、午前中は公正取引委員会の会合、午後は「食の安全・監視市民委員会」の常任運営委員会にオンライン参加のため夜に駆けつけることに。康江さん、80歳を越えた今も、消費科学連合会の元事務局長・副会長としてこうした役職を続けている。とりわけ、食品表示問題に詳しい。

12:36、天浜線敷地駅で、正士、久米、若林さんに迎えられる。

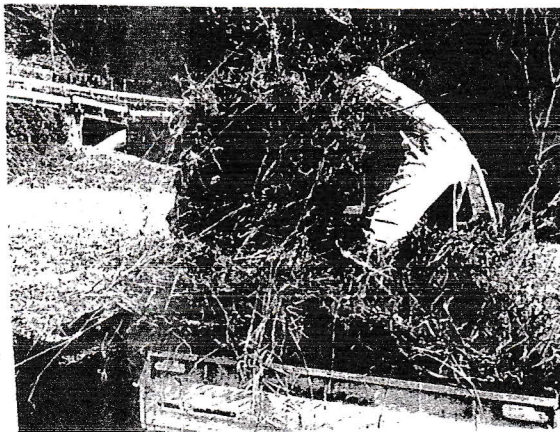


遠鉄ストアで買物



久米さんと原田さんが夕食の支度

買物の後、前回やり切れなかった山野草の田んぼへの運搬と敷き均し。



軽トラックへ積み込み



田んぼへ落とす

夕食の調理は、久米さんと英ちゃんが担当。その間に山崎さんが掛川駅まで康江さんを出迎之に。この時間帯、新幹線と天浜線の接続が悪く、長時間待たされるからだ。

(夕食) 餃子(英ちゃんの手作り)、刺し身(金目、タコ)、サンガ焼き(英ちゃん)、白菜とバーコンのトマト煮(トマトは伊藤恵一郎さんから)、菜花(久米さん)の七味炒め、か葱(久米さん)とイカのぬた、白菜とセロリの浅漬け、コンニャクとリンコンのきんぴらに正士さんの手打ちソバ(常陸秋ソバ)を久米さんのだしとかけして。

この夜、0時近くに東北地方で震度6+の地震。東北新幹線脱線などの被害が。横須賀さん(仙台)、筑波さん・秋山さん(多賀城市)、大丈夫だろうか。

3月7日(木)、晴のちくもり。

久米さんも参加し、又チバナツクリの倒木現場へ。これまでの作業で沢(谷)のかなり上部まで整理が進んでいる。上部の現場まで狭い沢(谷)は水流はない)を登るのが大変なため、今回初めて上部から降ることになった。

以前、正士さんと見当をつけた林道上部に車をとり、正士さんが用意した公園(拵山)の輪かきだけで等高線も水流もない)を片手に、見当をつけて先行する。上部から続く小さな尾根の東側は沢が広さうなので、右側の沢に狙いを定め、くだる。すぐに踏み跡がみつかった。上で待つ人たちに声をかけ、少し下がると前回作業した現場が見えた。

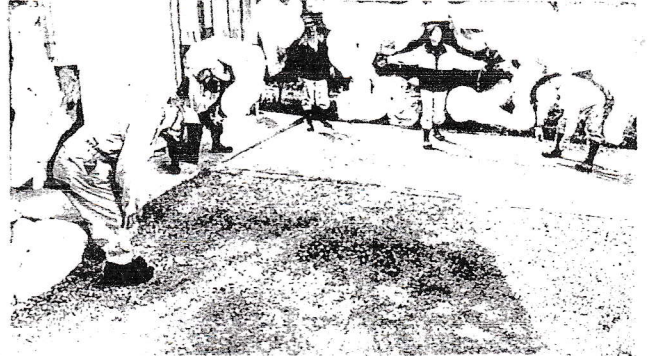
足場は悪いが、6~7本のスギが横たわり、その上部にかなり太い広葉樹が倒れている。広葉樹はひとまず抜き、スギの木を先に片付けることにした。運びやすい大きさに切った丸太を下に落とし、積み上げていく。

昼、昼食のたわ下山。三様の下り方をした。上部に残した車は山ちゃんと若林さんが登り返して、久米さんと英ちゃんは通り越した沢筋を。正士さんとぼくは左下に見えた踏み跡を辿ることになった。これが正解だった。上部は崩れて歩きにくいから、すぐに軽トラックが通れそうな道幅となった。正士さんのお父さんがみらした林道だった。一部草が茂り、下枝がじゃまをするところがあるが、それと除けば傾斜も緩く歩きやすい。一番早く下に着いたのは、沢を下った久米・原田組、次が正士さんとぼくで、なぜか車の二人が一番遅かった。登り返すのに苦労したようだ。



天気の良い日は、庭で昼食

### バラバラ体操



(ページ上部に写真を配すと、印刷時、紙送りミスが多発するので、黒い部分をインク消して塗ってあります。)



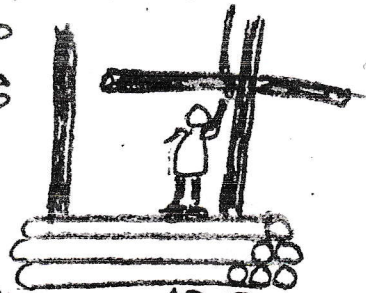
(昼) ピザトースト(伊藤和代さんの食パン)、クリームシチュー、ブロッコリ(尾上さん)のサラダ、菓子パン(和代さん)、甘夏(久米さん)

午後も作業を継続。/本、大きく禿んだスギが残った。不用意に切ると、ハネ返って大ケガをしない。ハネ返っても当たらないような体勢で慎重に切る。しらい、思った

ほどハネ返らない。台風から2年半が経過し、応力が変化したか、木の性が変わったのか。

もう一つ厄介だったのは、図のようにヤジロバエのように悪かった木。細いけれど手が届かない。そこで足元に丸太を重ねてもらい、小型のチェーンソーを片手でのばして切ることにした。横になった丸太ではなく、横んでいる枝を切って落とした。



一段落したところで、内田美智子さんから送られたお饅頭をいただく。(左)

17時、終了し下山。まだ明かるさが残っているので、正士さんと家の近くでカーブしたガードレール沿いの川べりに繁茂した竹とスギの枝を整理する。これでカーブの見通しがよくなった。

(夕食) 麻婆豆腐、大根餅、ニラと王子のお浸し、星等とぶき肉のみそ煮、ホヤテ入り大根サラダ、ジャガイモのタラコチーズ焼き、アナゴの一夜干し(英ちゃん)、ホヤテ糝薯(しんじょ、英ちゃんから)におソバ。

その他、尾上美智子さんから土井酒造の開運花の香(2斤)ほか、松田敏幸さんからマグロとブリの漬物とエビスピール、伊藤恵一郎さんから水に沈むトマト、康江さんから山形・大庄トラストの納豆等々をいただいた。詳しくは、正士さんのお便りに(このあと)。



手前中央が松田さん、その左伊藤(恵)さん

この夜参加した伊藤(恵)さんと松田さんは、正士さんとは磐田市の人権擁護委員仲間。明日は恵一郎さんがボランティアとして協力している授産施設「サンサンいわた」で、子供たちがサツマイモを作る畑で石拾いの作業と一緒にやる予定。磐田市から、ボランティアグループの登録名を何にするか問われ、とっさに「猫の手」と答えたという。「名儀料は高いですよ」と山ちゃん。

膝の具合が悪く思うように動けない松田さんだが、口の舌はよく動く。尾上さんからの「花の香」が入ると一層滑らかとなり、対面に座った山ちゃんとのかけ合い石ごには腹を抱える。一面、世話をしているお年寄り達(本人も立派なお年寄りだが)に、どうしても読んでほしい文書には、伏せ字を入れて注意を惹く機知も持ち合わせる。

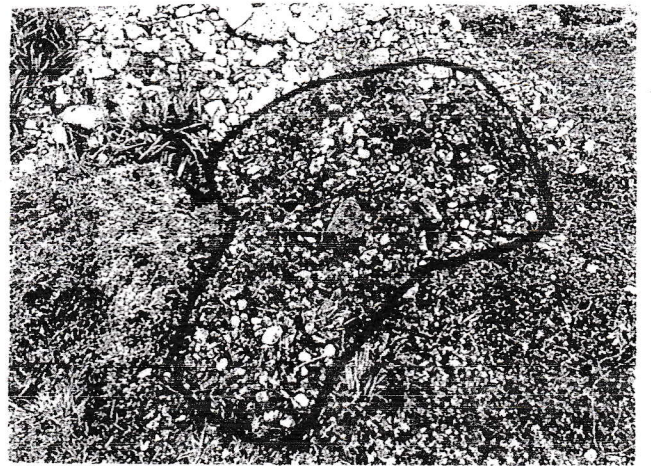
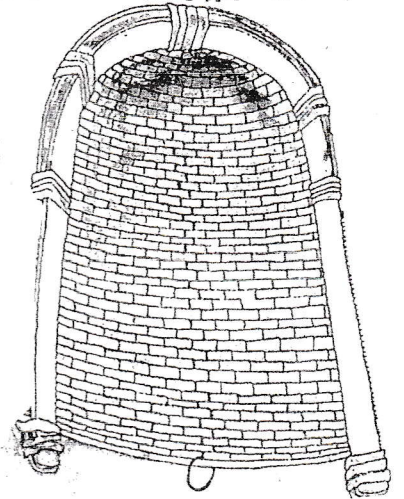
宴の途中、ぼくは久しぶりに足がツツた。ツムラの68番「芍薬甘草湯」を服用した上、若林さんに揉んでもらう。急斜面の登り下りで疲れがたまっていたのだから。若林さんは力が強いので、いやな痛かった。赤東明子さんの「ゆらし療法」が懐しい。ぼくはこれまで65年スキーをやっており何百回も軽んだが、一度もケガをしない。加齢による衰えか。

3月8日(金)、くもりのち雨。

若林さんは竹細工の師匠に戻って朝帰り。残る全員で磐田市(大平も磐田市だが)へ。「サンサンいわた」に隣接した畑には伊藤(恵)、松田さんが先着していた。作業の説明をきいて、石拾いが始まる。

アメリカンレーキ(鉄製の熊手)や三本鋏で石をかき集める組と箕(み)で拾い集める組に分かれて作業が始まる。(右図は津谷寛奈さんの絵ハガキ「暮らしの道具」シリーズから一部省略。正士さんちのは、プラスチック製。絵ハガキの問い合わせ、注文は minanomori@madowaku.com又は津島市宮町1-99A)

なかには、ずりり重い石もある。箕が重くなると一輪車に集め、畑の端にすでにできている石の山に重ねていく。写真手前の線で囲んだ部分が、この日集めた石だ。



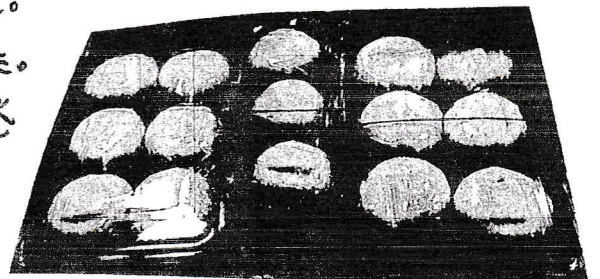
寒風に震えながら作業をしたが、1時間ほどで雨が降り出し、作業をやめる。

恵一郎さんの案内で「エベレストカレー」の店でご馳走になる。ごはんに加えて、昔のテニスマケットほどの大きさのナンがついて、食べるのにひと苦労。恵一郎さんからこの時に『緑十字機 沈死の飛行』という本を預る。その紹介はこの号のどこかに。長くなってしまったが、編集・発行人の特権としてご海容下さい。

食後、お二人と別れ、正士さんちに戻り、シャワーを使い余裕もなく帰宅の途へ。石拾いは今後、トラクターを土を起した上で続ける予定。

6の饅頭に添えられた 内田美智子さんのメモ。

「正士さん、みなさん花が一斉に咲き出しました。昨日、延岡(宮崎県)から友人が来て、旭化成の爆発はダイナマイトを作っているからだそうです。みなさんどうぞお元気で、お仕事の後には食事と楽しい話し、歌も歌って下さいね。」



(次ページに正士さんの「便利帖」)

3/16~3/18にかけて猫の手の活動ありがとうございました。

遅くなりましたが3月16日~18日の山仕事の写真をお送りします。

3/16は、前回やり残した、桶ヶ沢の休耕田の刈り草を家田の田圃に運び敷き均す作業をやっていただきました。猫の手の皆さんのおかげで労力のかかる山草の敷き均しが終わり美味しいお米ができます。ありがたいことです。

3/17は今までずっと懸案の3年前の台風で倒れた風倒木の処理をしていただきました。台風により倒れ二重、三重に折り重なりねじれたり折れ曲がったりした木を、山の中にまとめて整理する。いわば山のお掃除ですが変なところに力がかかりとても危険な作業です。回を重ねる度に山がキレイになり嬉しいです。

最終日の3/18は猫の手の仲間の伊藤恵一郎さんがマイクロバスで送迎している就労支援施設のイモ畑が小石でいっぱい農作業が大変とのことからイモ畑の石拾いを行いました。途中で雨が降ってきたり土の中に潜った石もあつたりで大変でしたが、とりあえず表面の石は何とか片付けました。今後トラクターで起こして潜った石を表面に出さないと石をとりおおせないと感じました。これからの検討課題です。

そして、今回も皆さんよりたくさんの差入を頂きました。

- 山口県下関市の伊藤和代さんより食パン、菓子パンを沢山いただきました。昼食におやつに美味しくいただきました。
  - 伊藤恵一郎さんよりとても甘い美味しいトマトを沢山頂きました。サラダにしたりお土産としても頂きました。また3/18には石拾いのあと昼食を、エベレストのナンのカレーをごちそうになりました。ナンがすごいボリュームで美味しく頂きました。
  - 猫の手の後方支援、お料理担当の伊藤康江さんより新庄最上の有機納豆20袋をお送り頂きました。朝食に美味しくいただいています。
  - 内田美智子さんより、またまたおいしいお饅頭をお送りいただきました。私の好物で毎回お送りいただき恐縮の極みです。
  - 浜松市春野町の尾上美智子さんより清酒「花の香」2升、各種野菜(ゆめ咲菜、ブロッコリー)、白みそ饅頭1パックいただきました。お酒もお饅頭も野菜も何よりでした美味しかったです。
  - 久米真弓さんより、そばつゆ(ダシ、カエシ)を頂きました。美味しいおつゆでソバが引き立ち嬉しいです。それから各種野菜(菜花、分葱)、生椎茸、手作り柿酢大瓶1お料理に美味しく頂きました。
  - 原田英治さんより縞ホッケ開き2パック、アナゴの一夜干1パック、イワシのたたき身、ホタテすり身、レモン大2個頂きました。新鮮なおさかな美味しかったです。
  - 松田敏幸さんよりマグロとブリの漬け各1瓶、それに玉ねぎスライス、エビスビール500ml1パックいただきました。漬け、油が乗っておいしかったです。
- 皆さんの猫の手へのお気遣いに感謝です。ありがとうございました。

令和4年3月31日

鈴木厚正様

16

鈴木正士